

知事コメント

(大阪府警機動隊員による不適切発言について)

沖縄県警察本部によると、10月18日午前9時47分頃、北部訓練場のFルート入口付近で、抗議行動参加者が警告に従うことなく、フェンスを叩きながら発言したことに対し、機動隊員が不適切な発言をしたとのことであります。

係る言葉は、未開の地域住民を侮蔑する意味を含んでおり、そのような発言は一県民としても、そして沖縄県知事としても言語道断であり、到底許されるものではなく、強い憤りを感じております。

沖縄県警察本部は、今回の発言について、不適切であると認識し、極めて遺憾であり、以後、このようなことがないよう、あらためて指導するとコメントしております。

しかしながら、北部訓練場における機動隊の警備活動について、沖縄県警察本部では、「現場においては、常に冷静沈着、かつ丁寧な対応を心掛けるよう指導してきた」とのことですが、今回のこのような発言は、十分に指導が行き届いていないと言わざるを得ません。

私としては、沖縄県警察本部長と面談し、これまでの指導が十分でないことを指摘し、適切に管理するよう求めていきたいと考えております。

また、沖縄県公安委員長に対しては、今回の事案に対して、その見解を確認したいと考えております。

平成28年10月19日

沖縄県知事 翁長 雄志